

広報

みなみふらの

9

2023. SEPTEMBER No.810

- P2 第52回かなやま湖湖水まつり
- P3 まちの話題・出来事（幾寅駅の鉄道遺構・映画「鉄道員」
ロケセットに関する検討委員会開催、全国市町村教育委員会
連合会功労者表彰受賞、こども七夕まつり）
- P4 ~6 南の国の真夏に挑む体験の旅（感想文紹介）
- P7 カメラレポート
- P8 農業委員会委員紹介
- P9 教育委員会通信
- P10~11 ほのお
- P12 南富高新聞、秋はヒグマに要注意
- P13 子育て支援センターだより
保育所の元気な子どもたち
- P14 寄附・寄贈、宝くじ（ハロウィンジャンボ）

かなやま湖湖水まつり
7月29日



第52回かなやま湖湖水まつり

わがまちの一大イベント「第52回かなやま湖水まつり」が7月29日(土)に、かなやま湖畔キャンプ場で行われ、多彩な催しにキャンパーや観光客など多数の方々が訪れ賑わいをみせました。

午前11時30分に湖畔ステージでの開会式後、町内の子どもたちによる「キッズダンス」を皮切りに、「陸上自衛隊上富良野駐地音楽隊吹奏楽演奏」、まつり名物の町内女性団体などの皆さんが踊る「湖水音頭」に続いて、「ウルトラマンブレイザーショー」やものまねタレント「りんごちゃん」のライブショーなどが行われました。ステージイベントの最後には、本町



出身の演歌歌手石上久美子さんの歌謡ショーで素敵な歌声が披露され、子どもから大人まで大いに楽しんでいました。会場外のイベントでは、金山ダム見学会や有料のカヌー、サイクリング、フィッシング体験など、受付開始直後から定員に達するほどの大盛況でありました。また、会場内では多くの臨時売店やキッチンカーが出店され、おまつり気分を更に盛り上げていました。湖水まつりの最後には、花火大会が行われ、約3000発の色とりどりの花火が夏の夜空を華やかに彩り、来場者を魅了してまつりが締めくくられました。



幾寅駅周辺の鉄道遺構・映画「鉄道員」ロケセット等に関する 検討委員会開催

8月9日、町では来春JR根室線(富良野〜新得間)が廃止されることに伴い、幾寅駅周辺の鉄道遺構及び映画「鉄道員」のロケセットなどの展示物の保存や活用などを考える第1回目の検討委員会を開催しました。

検討委員会には、映画撮影の炊き出しなどの手伝いを行った幾寅婦人会をはじめ、町商工会、南富良野まちづくり観光協会、元国鉄職員の方などのほか、町内から公募で申し



込まれた方を含め12名が委嘱されました。

初となる検討委員会では、町商工会長である小泉憲勝氏が委員長に選出され、保全と利活用を通じて新たな魅力創出、観光資源となる幾寅駅周辺整備等基本構想案として、駅周辺における遊歩道・花壇設置やキハ車両の展示、「鉄道員」ロケセットの整備、町情報プラザに鉄道関係資料の展示スペース設置、根室線感謝記念事業の実施について事務局より説明がされました。

委員の皆さんからは「花壇などは将来の管理を見据えたなかで整備を進めてほしい」「観光客が町内を散策するのに、荷物を預けられる場所があると良い」「観光としてトロッコ車両の運行なども面白い」などの意見が出され、検討委員会が終了しました。町では、今年度中に検討委員会を2・3回開催し、協議された内容をもとに基本構想を固めていく予定です。

全国市町村教育委員会 連合会功労者表彰受賞

7月24日、役場にて全国市町村教育委員会連合会功労者表彰を受賞した河野高好氏に鈴木教育長から、表彰状の伝達が行われました。

河野氏は、平成18年10月に教育委員に就任し令和4年9月に退任するまでの16年間の永きに渡り、教育委員として地方教育行政の重責を担い、平成19年10月から平成28年11月までは教育委員長の要職も務められました。その間、特に地域の少子化が進み小学校の統廃合など本町の教育環境の充実にも貢献されました。



夏の楽しい一夜を過ごす 「こども七夕まつり」

8月7日、町商工会(小松憲勝会長)は、町情報プラザ前の駐車場で「こども七夕まつり」を開催しました。

このまつりは、北海道地方での七夕の日になんで、子どもたちにたくさん楽しんでもらおうと、毎年、町商工会が開催していましたが、コロナ禍で中止となり、今回4年ぶりの開催で、多くの子どもたちがまつり会場を訪れていました。

集まった子どもたちは、4グループに分かれ、幾寅市街地を周り「ロウソク出せ出せ」と歌い、各商店で用意されたお菓子やロウソクなど、手に一杯もらっていました。



その後、会場では子どもも盆踊りや花火が行われたほか、食べ物やおもちや、スマートボール、輪投げなどの露店も出店され、まつりに訪れた子どもたちや親子さんなど、夏の楽しい一夜を過ごしていました。

南の国の真夏に挑む体験の旅



もとぶ元気村（シーサーづくり）

今月号では、先月号に引き続き6月26日から30日の日程で、「友好の町」沖縄県本部町との間で
行われている親善交流事業「南の国の真夏に挑む体験の旅」に参加した児童の感想文を紹介します。

「楽しかった本部町」

南富良野小学校
瀧 勇斗

僕の今回の本部町訪問は、「すごく楽しかった」につきます。理由は、初めての飛行機に乗って旅をして本部町に行き、上本部小学校のみんなと交流できたからです。

それで、僕が心に残った場面は三つあります。

一つ目は、美ら水族館の色々な魚たちです。理由は、初めて近くで魚やジンベエザメやサメを見られたからです。あと、世界一大きい水族館に行つていっぱい魚を見たことです。二つ目は、沖縄国際通りでの景色です。理由は、たくさんのお店があつて、いっぱい人がいたからです。北海道では、いっぱいの人をあまり見ないからです。あと、沖縄にドンキホーテがあつたのにびっくりしました。北海道ではできない買い物や色々なお店を見られたのでうれしかったです。

三つ目は、バーベキューをしたことです。理由は、北海道と沖縄のバーベキューの仕方が違つていたからです。ホルモンがなかったのが、残念でした。でも、みんなでワイワイ笑つたり写真を撮つたりして楽しかったです。この本部町訪問で沖縄の暑さを体験したので、今後、北海道でも、三十一度が出て余裕で外に出られるようになりたいです。あと、沖縄の文化や戦争の

ことについて知れたし、これから戦争が起こらないようにするために大事なことを知れたのでよかったです。随行員の皆さん、五日間という長い期間お世話になりました。本部町の教育委員会の皆さんと南富良野町の教育委員会の皆さん、五日間ありがとうございました。

「本部町訪問」

南富良野小学校
川口 結稀

私達六年生は六月二十六日に沖縄県に行きました。私は、沖縄県に安全に行けてよかったです、嬉しかったです。沖縄県では藍染体験をしたり、バーベキューをしたり、ひめゆりの塔に行ったり、美ら水族館に行ったりしました。とても楽しかったです。

私が特に心に残った事は二つあります。一つ目は、マリン体験です。北海道の六月の海は冷たすぎて入れないし、茶色く濁つていたので、沖縄の海は生ぬるい感じでした。入るととても気持ちよかったです。二つ目は、上本部学園の六年生たちとの交流です。班ごとに分かれて、クイズをしました。本部町の同じ班の子と自己紹介をしてから、クイズをしました。私は五班でした。

クイズは本部町のイメージキャラクターの「フトモ」や、美ら水族館のジンベエザメが

入っている水槽の面積などが出てきました。

南富良野町のクイズは、「みなみちゃん」の服や南富良野町の特産物のクイズなどが出ました。クイズが終わつた後は皆で手持ち花火をしました。とても綺麗でした。

交流の最後に小さな打ち上げ花火みたいなものをしました。綺麗でパチパチと音をたてながらあがりました。私が本部町訪問で学んだことは、マナーや五分前行動です。食事のマナーや挨拶のマナーなどを学びました。

五分前行動をすることで早く行動をすることができると、五分前行動はとても大事だなと思えました。本部町訪問で学んだマナーや五分前行動を西小との集合学習の時に生かしたいです。随行員の方々のおかげで楽しく本部町で過ごすことができました。五日間ありがとうございました。

「楽しかった本部町」

南富良野小学校
佐々木 優斗

五日間の本部町交流を一言で表すと「とても疲れた」です。理由は、一日目と五日目が移動で終わつたからです。

心に残った場面を二つ紹介します。一つ目は「美ら水族館」です。理由は、見るのが苦手な魚を克服できた場所だからです。暗闇で魚の目が光るのが僕は今

まで苦手でした。だけど今回の美ら水族館で克服出来ました。

二つ目は、「海」です。理由は、バナナボートや水上アスレチックがとても楽しかったです。特にバナナボートが楽しかったです。バナナボートは、とにかく速いから何も見えなかったです。水上アスレチックで特に楽しかったのは滑り台です。滑り台は、とても高いところからすごいスピードで滑るからとても楽しいです。

僕は、この本部町訪問を通して今後に生かしたいことは、好き嫌いをなくすことです。きっかけは沖縄で苦手な刺身を食べて苦手なものだと思わないくらいおいしかったからです。

随行員みなさんのおかげで西小のみなさんと大変楽しい五日間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

「本部町の思い出」

南富良野小学校
佐々木 雪花

本部町交流で一言で表すと楽しかったです。理由は、海のパナボートや水上アスレチックが楽しかったです。心に残ったのはシーサー作りです。見本を見て上手

で、すごいと思いました。顔のパーツを作るのがむずかしかったです。みんなと作るのが楽しかったです。上手にできた気がして楽しかったです。二か月後にシーサーがとくのが今から楽しみです。

心に残ったのは水上アスレチックです。海の上に大きいすべり台があつて面白そうだと思います。すべる時面白かったけどまさつて体が痛かったです。ターンもしました。

ロープから手をはなして落ちるのが楽しかったです。その他にもトランポリンがありました。トランポリンではねるのが楽しかったです。

五日間時間に気をつけて行動することができたのでこれからも時間に気をつけて行動したいです。

随行員の皆さん飲み物を用意してくれたりいろいろな場所を案内してくれてありがとうございました。

「本部町で楽しかったこと」

南富良野小学校
シヨビヤル

本部町訪問を一言で表すと、「とてもあつた」です。理由は、本部町の気温がかなり高かったからです。ほくが、心に残ったことは二つあります。一つ目は、美ら水族館で

す。理由は、北海道では見られない魚がいたからです。ジンベエザメも見ました。ジンベエザメは、人間よりも大きくてびっくりしました。

二つ目は、海です。理由は、北海道の海と本部町の海の色がちがつたからです。北海道の海は青くないですが、沖縄の海はとても青く、砂はサンゴ礁がたくさんでした。とてもきれいでした。

この本部町ほんまで、ほくは、嫌いな食べ物を食べられるようになった。ほくは、刺身が食べられなかったけど、本部町で食べられるようになった。おいしかったです。おいしくなりました。

随行員のみなさんのおかげで本部町で楽しい思い出をつくりました。ありがとうございました。

「本部町の思い出」

南富良野小学校
長谷川 璃子

今回の本部町訪問を一言で表すと、「とても楽しかった」です。バナナボートに乗つたり、買い物をしたり、バーベキューをしたり、水族館に行つたりなどが楽しかったです。心に残った事が二つあります。一つ目は、真夏の海です。バナナボートに乗つたり水上アスレチックをしたり、サン

ゴ礁ツアーをしたりが楽しかったです。バナナボートは、一番前に座ると水しぶきがかかって気持ちよかったです。水上アスレチックはいろいろなアスレチックがあつて楽しかったです。

二つ目は、ひめゆりの塔で戦争のことを学んだ事です。戦争の悲惨さ、女学生は、死を覚悟してご飯を取りに行つたり、負傷兵の手当てをしたり、死体の埋葬まで、負傷兵から文句を言われながらも手当てをして、戦争で戦つていた人も、死を覚悟して戦つていたんだと身にしみて感じました。

私は、本部町訪問でさわぎすぎてしまつたり、あいさつがしっかりとできていなかったりした時もあったので、今後、いろいろな所に行つたときに、礼儀正しく、落ち着いてあいさつもしっかりとできるようにしたいです。

随行員の皆さんのおかげで、安全に楽しく五日間生活できました。ありがとうございました。うるさかつたりしたら、注意したり、いろいろなことを教えてくれてありがとうございました。五日間ありがとうございました。

「いろいろな体験ができた本部町交流」

南富良野西小学校
畠山 璃子

私は、親善交流事業で沖縄県本部町に行きました。この

カメラレポート

CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

ヴァイオリンコンサート (7月19日)

南富良野公民館主催による「ヴァイオリンコンサート」(演奏者 酒地祥太さん・吉川円さん)が、保健福祉センター「みなくる」で開催されました。コンサートでは、映画「鉄道員」やテレビドラマ「北の国から」の挿入曲のメドレーなど、馴染み深い全13曲が演奏され、来場された62名の皆さんは、お二人が奏でる美しい音色に耳を傾けていました。



南富良野町公民館事業

水難救助訓練の実施 (7月19日)

かなやま湖畔において、上富良野駐屯地所在の各部隊が水難救助訓練を行いました。この訓練は、水に関わる事故や水害の発生に備え、毎年この時期に実施されているもので、参加した約50名の隊員は救助ボートの操作や転覆からの回復などの訓練を真剣に取り組み、災害等への対処能力の向上を図りました。



星に願いを込めて (8月7日)

幾寅保育所では、北海道地方での七夕の日(8月7日)に七夕行事を行いました。園児は「織姫さまと彦星さま」の紙芝居を見て七夕について知ったり、柳の木に短冊を一生懸命吊るすなどして願いごとを星に祈っていました。



盆踊りと花火大会で夏を満喫 (8月14日)

下金山子ども会育成会が、南富良野西小学校グラウンドで盆踊りと花火大会を開催し、下金山・金山地区の皆さんが多数参加しました。参加者は、子どもから大人までトラックのやぐらを中心に輪となり、みんなで楽しく盆踊り踊ったあと、花火を楽しみました。また、地域の青年グループの皆さんが、焼き鳥や焼きそば、ポップコーンなどの露店を出店し、会場内を盛り上げていました。



のでよかったです。三つ目は国際通りでの買い物をしたことです。国際通りには、いろいろなお店がありました。私の班は五班で、日瑚さんと蒼さんと買い物しました。いろいろなシーサーが売っているお店がありました。私は、習字の人たちにくばるお土産や親戚に渡すシーサーを買いました。他のお店でも、お土産や、自分のほしい物のかえしたので良かったです。普段みんなと買い物に行ったり出来ないけれど、みんなでいろいろなお店に行けたのでとても楽しい思い出になりました。

私は、沖縄親善交流事業で、マリンスポーツ体験や藍染体験などいろいろな体験をすることができました。また、沖縄の良さや沖縄の文化についてたくさん知ることが出来ました。

この沖縄親善交流事業で学んだ事を、いろいろな人に伝えていきたいと思っています。

「本初めての体験」

南富良野西小学校
羽野 凜音

一つ目は、一日目の夕食歓迎会です。琉球舞踊を始めに赤い衣装で、ゆつくりと動き琉球舞踊を見終った後、食事しました。そこで初めて沖縄のそばを食べました。北海道とは違つたおいしさがあつて、何回も食べたくなりました。次にエイサーを見ました。近くで大きい太鼓をたたいている人が居ました。迫力のある音がとても心に響きました。みんな動きがそろつていたので、とてもかっこよかったです。エイサーを見終つたら、よさこいを踊りました。私は、掛け声をそろえて踊りました。見ている沖縄の人達も掛け声の「どっこいしょ」を一緒に言つてくれました。凄く盛り上がった夕食歓迎会になったと思います。

二つ目は、二日目のマリンスポーツ体験です。マリンスポーツ体験で、バナナボートに乗りました。バナナボートは百キロも出しているそうです。西小の女子は最後に乗りました。水しぶきが強く、とてもしょっぱかったです。沖の方まで行つたとき、バナナボートが勢いよく曲がって、私は落ちてしまいました。いきなりだったのでびっくりして鼻に水が入つてしまいました。ゴーグルは首にかけていたので、目も痛かったです。時間が余つたので、私はリベンジのため、もう一回乗りました。少し不安もありませんでしたが、落ちないで帰つてくれました。海は見ただけですが、入るの初めは透明感があり、とてもきれいでした。

三つ目は、三日目の美ら海水族館です。初めて水族館に行きました。たくさん魚がいました。私は特にジンベエザメとチンアナゴが見ることが楽しみでした。チンアナゴとは一緒に写真を撮りました。写真を撮つたので永遠に残る思い出になりました。ジンベエザメは、想像していた大きさの倍は大きくてびっくりしました。イルカショーも見ました。途中で行われる、イルカから水をかけられるスプラッシュタイムに参加しました。水は思ったより勢いが凄かったです。冷たくて気持ちよかったです。

沖縄に行つて初めて体験したのも、初めて行った所がたくさんありました。この思い出は忘れることはないと思います。この経験を生かし、これから生活していきたいです。

「南の国の真夏に挑む体験の旅」



▲藍染体験



▲沖縄県平和祈念資料館



▲キャンプファイヤー



▲沖縄国際通り

町の文化財や史跡について紹介します 第12回目は、「川合嘉十翁之碑」です。

※第11回目「望月木工場跡」は8月号に掲載しています。

落合から国道を狩勝峠に向かって行くと右の山を背景にして川合農場の事務所跡がある。落合の開拓時代に川合嘉十翁がいて色々の構想を練ったところであるが現在高橋トイの住宅である、翁の孫にあたる川合林蔵が牧場のあとに造林したり、造林地の手入れをする事務所をかねているが、ここの庭園は翁の生前にきづかれたもので、養鯉場から用水をひき、池も掘られていたのであった。

「南富良野村史・町史」から引用抜粋



川合 嘉十氏

川合嘉十氏の歴史は、村史・町史に詳しく記載されています。下記QRコードからご覧ください。



村史



町史



北落合入植者記念時の碑(昭和11年当時)



現在の川合嘉十翁之碑

※南富良野町ホームページ内サイト(生涯学習係)にて史跡情報を掲載しています。

「教育・文化週間」について

11月1日(水曜日)から7日(火曜日)までは「教育・文化週間」です。期間中には全国各地で体験活動、公開講座、美術館・博物館の無料開放など様々なイベントが開催されます。大人も子供も、みんなが楽しく学ぶ週間ですのでぜひ教育・文化イベントについて調べてみてください。

この週間は、「教育・文化週間」(昭和34年9月4日閣議了解)の趣旨にのっとり、「文化の日」を中心として、教育・文化に関する諸行事を全国的に実施する事によって、教育・文化に関する国民の理解と関心を深め、もってその充実振興を図るとともに、教育改革への一層の協力を得ることを目的としています。

英会話教室受講生募集中

○日常英会話編 I

1. 開催日 10月2日、16日、30日
2. 内容 道を尋ねられた時の対応など
3. 申込締切 9月22日まで

詳細は教育委員会まで
TEL 52-2145

新しい農業委員会委員が決まりました

農業委員の選出については、6月21日開会の第2回町議会定例会で農業委員10名の任命に同意することで決定しました。

7月20日(木)高橋町長から任命書の交付、その後総会が開かれ、会長には武田伸一氏、職務代理には大竹秀明氏が選任されました。任期は、令和5年7月20日から令和8年7月19日までです。



プロフィール

議席番号

氏名(敬称略)

- ①住所
- ②職業、年齢

【農業委員会の役割について】

農業委員会は南富良野町の農地を守る組織(農地の番人)として、日常的な農地利用の監視・点検活動を始め、認定農業者等の担い手に対する農用地利用集積に取り組むとともに、現場の実態を踏まえた農業者の声を反映するため、関係機関・団体と連携し「意欲と能力ある担い手の育成・確保対策」や「優良農地の確保と遊休化未然防止対策の強化」「情報の収集・提供」など、近い将来を見据えた農業振興を図るため、農業・農業者の公的機関として活動を行います。



①新田 康男

- ①幾寅
- ②農業・56歳

②大竹 秀明

- ①北落合
- ②農業・45歳

③金 哲也

- ①下金山
- ②農業・46歳

④黒田 晴彦

- ①幾寅
- ②農業・44歳

⑤畠山 茂実

- ①下金山
- ②農業・45歳



⑥鹿野 博史

- ①金山
- ②農業・43歳

⑦久保田裕輝

- ①北落合
- ②農業・38歳

⑧直原 英純

- ①幾寅
- ②農業・63歳

⑨伊藤夫佐恵

- ①幾寅
- ②自営業・66歳

⑩武田 伸一

- ①下金山
- ②農業・49歳

まちを守る
僕らのヒーロー

消防団

自らの地域は自らで守る
あなたも「まちのヒーロー」になりませんか



消火活動

火災現場では、消防支署と連携して放水などの消火活動を行います。



救助活動

救助が必要なとき、救急車や消防士が到着するまでの間、AEDを使用した心肺蘇生などの人命救助活動を行います。



水防活動

大雨などによる風水害のときは、増水した河川の警戒や土のうを積んで越水を防止したり、住民の避難誘導を行います。



消防署と消防団って何が違うの？

火災などから住民を守ることを専門にしているのが「消防署」。その消防署で働く人を「消防士」と呼びます。一方、普段は会社員や自営業など別の仕事をしている地域の人が、災害が起こったときに集まって活動するのが「消防団」。その消防団に参加している人が「消防団員」です。

南富良野消防支署から離れた地区で起きた災害現場に真っ先に出勤して、消火や救助の活動をしたり、消防士の活動を無理のない範囲でサポートするのが消防団です。

消防団員はどんな活動をするの？

南富良野消防団には、幾寅、落合、下金山、金山の各地区に、それぞれ分団が組織されています。消防団員は、火事の消火活動、大きな地震や水害が起きたときに困っている人を助ける活動をしています。

また、そうした活動に備えて、月に一度、分団ごとに集まって放水や水防などの訓練をしています。

だれでも団員になれるの？

十八歳以上、六十五歳未満の健康な方で、南富良野町内に在住または在勤の方であれば、性別を問わずにだれでも入団できます。富良野沿線各市町村の消防団には、計三百四十九名の団員がいて、そのうち九名は女性団員です。

団員の身分は、特別職の非常勤公務員として保障され、報酬額は四万二千円、活動内容に応じて一日あたり五千円から一万二千円の活動報酬が支給されます。

■ お問い合わせ先

南富良野消防団本部 事務局
富良野広域連合 富良野消防署
南富良野支署 消防係
☎ 52-2119

◆ 主な年間行事

4・5月	春の火災予防運動、定期訓練
6・7月	富良野地区分会消防総合訓練大会、南富良野消防総合演習、定期訓練
8・9月	消防団員現地教育訓練、定期訓練
10・11月	秋の火災予防運動、定期訓練
12・1月	出初式、定期訓練
2・3月	定期訓練

南富良野支署出動件数

- (令和5年1月1日～7月31日)
- 救急出動 83件
(うちドクターヘリ要請件数 10件)
 - 火災出動 1件
(うち他市町村応援出動 1件)
 - 救助出動 2件

石狩川水系空知川総合水防訓練

この総合水防演習は、空知川の洪水災害に備えて、北海道、空知川流域の市町村、北海道開発局が共催したもので、上川及び空知管内の空知川流域市町村の消防団と防災関連機関が参加し、各機関の連携、水防技術、防災意識の向上を目的としています。開催場所は、滝川市の石狩川と空知川の合流地点で約二百人が集まり実施されました。



総合水防演習参加団員の皆さん

南富良野消防総合演習



▲ 一斉放水

4つの分団の消防車から筒先員の直上への放水を旗の合図で一斉に行います。



▲ 消防操法応用訓練

5人一組で消防車の消防ポンプを操作して、火点の標的へ放水をする訓練です。



▲ 小隊訓練

指揮者の掛け声で行進や方向転換をします。隊員間の連携が重要となります。



▲ 開会式

各分団ごとに行進しながら会場へ入場し、大会長への参加人員の報告をします。

◀ 自衛隊による災害炊き出し訓練

災害が発生した際の避難所等での炊き出しを想定した陸上自衛隊による訓練です。受付は、幾寅婦人会防火クラブと商工会女性部防火クラブの皆さんにご協力いただきました。

この演習は、消防南富良野支署と南富良野消防団が共催し、消防技術の向上を図ることを目的に毎年開催するものですが、新型コロナウイルスの影響により四年ぶりの開催となりました。会場には消防職・団員合わせて六十六名と来賓・一般観覧者合わせて百四十名が来場され、町内四つの消防分団による小隊訓練、消防操法応用訓練、一斉放水を実施し、婦人防火クラブ、関係機関の協力により無事に終えることが出来ました。

また、この演習に併せて、陸上自衛隊上富良野駐屯地による災害炊き出し合同訓練が行われ、来場された方々にカレーライスが振る舞われました。

今後も消防職・団員が一丸となり、町民の皆さまの安心・安全を守るため、日々訓練に励んで参ります。

蒸し暑い日が続いた夏でしたが、楽しく過ごせたでしょうか？

子ども達の元気な姿と日に焼けた笑顔が、夏の疲れを吹き飛ばしてくれます。ぷっこのお友達もまだまだ野外活動を楽しみます！

☆ぷっこクラブ (ミニ運動会)



お母さんと元気いっぱい走った後は、がんばり賞のメダルをもらったよ！

☆ぷっこクラブ (ブックドクター)



保育所のお友達と一緒に、絵本の読み聞かせに参加しました。面白いお話でしたね。

☆ぷっこクラブ (消防署見学)



大きな消防車を目の前にすると、緊張した2人。放水体験の後は、ニッコリ笑顔になりました。

☆みんなのぷっこ (水遊び)



きらきら光る水に子ども達の楽しそうな顔。暑い夏には水遊びサイコー！

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

7月は、遠足が行われ、ひまわり組は北の峰にある日赤の森公園に行ってきました。

子どもたちは、目をキラキラと輝かせながら沢山の遊具で遊んだり、愛情たっぷりのお弁当を美味しくいただいたりと、楽しい1日となりました。



金山保育所

7月20日、金山小果樹農園へ遠足に行きました。この時期はちょうどハスカップやジュンベリーが食べ頃を迎え、子どもたちは美味しい果実を見つけては「甘酸っぱくて美味しい～！」と嬉しそうに食べていました。



南富良野の自然を満喫！
1年生野外宿泊研修を行いました！
7月13日(木)から14日(金)の日程で、1年生の野外宿泊研修を行いました。
初日はかなやま湖畔キャンプ場で、グループごとに協力して「テント立て」からスタートしました。
その後、金山ダムの見学、午後からは空知川に舞台を移し、釣り体験を行いました。
釣りに使ったルアーは、生徒が宿泊研修前に、町教育委員会の指導のもと、各自製作したものでした。それぞれ時間を



かけて事前に行ったルアーでの釣りは格別で、生徒の中には見事、獲物を釣り上げた腕利きもいました。
食事はもちろん手作り、それぞれ炭をおこし、夜は、焼きそば、翌日はポトフやピザトーストを作りました。生徒は「うまい！」「やばい！」と満面の笑みと歓声を上げながら、仲間と共に、夏の野外での食事を楽しんでいました。
2日目は、どころ野外学校さんの協力をいただき、空知川でレスキュー体験を行いました。本校のアウトドアでは、川や湖

での体験も多く、水辺でのリスクマネジメントは重要度の高い学習です。ガイドの方からは「万が一、水難に遭った場合は、慌てず、力まず、冷静に行動することが重要である」と、今回、机上ではなく、体験学習を通して、身を持って学ぶことができました。
今回の野外宿泊研修では、1年生14名全員が参加しました。また、実施にあたり、物品や施設の借用で、南富良野まちづくり観光協会や南富良野町振興公社からの協力もいただき、ありがとうございました。
地域の自然と支援に囲まれ、生徒は楽しく、学びのある充実した2日間を過ごすことができました。



秋はヒグマに要注意

(秋のヒグマ注意特別期間 9月2日～10月31日)

秋は、キノコ採りなど野山に入る機会が多くなります。ヒグマによる人身被害は春と秋に多く発生し、被害の3分の2は山菜やキノコ採りで起こっています。野山に入る際には下記の「ヒグマに遭わないための基本的ルール」を必ず守ってください。

- ・ 食べ物やゴミは必ず持ち帰る
- ・ 野山では音を出しながら歩く
- ・ 薄暗い時には行動しない
- ・ 1人では野山に入らない
- ・ 事前にヒグマの出没状況を確認する
- ・ フンや足跡を見たら引き返す

※人里周辺などでヒグマを目撃したときは、役場または警察にご連絡ください。

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

○幾寅 大道作治様より故大道伸介様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

社会福祉協議会へ

○北落合 大竹信明様より故大竹利子様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○幾寅 大道作治様より故大道伸介様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

○幾寅 関保春様より故関アイ子様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

一味園・からまつ園・こさくら園・ふくしあへ

- 北落合 大竹 信明 様
- 幾寅 榎ソケイズ 様
- 幾寅 南富良野赤十字奉仕団 様
- 幾寅 榎吉岡建設 様
- 幾寅 五十嵐 柳子 様
- 幾寅 高松 冴子 様
- 下金山 及川 智 様
- 下金山 永井 博 様
- 下金山 中田 外喜子 様

- 占冠村 瀬 屑 文 郷 様
- 占冠村 坂 東 寿 美 子 様
- 富良野市 内 海 義 博 様
- 富良野市 織 田 馨 様
- 富良野市 後 藤 宗 男 様
- 富良野市 菅 原 幸 一 様
- 富良野市 森 川 幸 作 様
- 東川町 旭川福祉専門学校 様
- 東神楽町 市 川 光 枝 様
- 東神楽町 原 子 文 夫 様
- 旭川市 旭川大丸ケアサービス㈱ 様
- 旭川市 ㈱キユープランニング 様
- 旭川市 ㈱築滝建築設計事務所 様
- 旭川市 中 川 暁 様
- 旭川市 前川原 紀 子 様
- 旭川市 宮 川 紀 美 子 様
- 帯広市 江 口 宏 太 郎 様
- 帯広市 戸 塚 一 衛 様
- 土幌町 神 野 光 男 様
- 大樹町 山 内 艸 太 郎 様
- 浦幌町 大 野 健 一 様
- 津別町 樋 口 英 男 様
- 砂川市 長 田 幸 三 様
- 石狩市 齊 藤 邦 雄 様
- 札幌市 キングラン北海道㈱ 様
- 札幌市 札幌こども専門学校 様
- 札幌市 ㈱特殊衣料 様
- 札幌市 川 辺 寛 様
- 札幌市 菅 原 喜 美 子 様
- 小樽市 前 北 一 洋 様
- 千歳県 庄 司 博 様

☆お誕生おめでとう

幾寅 和田 想真きょうま

令和5年7月10日生まれ

★お悔やみ申し上げます

幾寅 大竹 利子(94)

令和5年7月3日逝去

金山 長田 アキ(103)

令和5年7月13日逝去

幾寅 大道 伸介(48)

令和5年7月15日逝去

落合 永井 真二(63)

令和5年7月17日逝去

◆わたしたちのまち

(令和5年7月末日現在)

- 人口 2,310人(△1)
 - 男 1,172人(△3)
 - 女 1,138人(2)
 - 世帯数 1,333戸(3)
- ()内は前月比

ハロウィンジャンボ

ラクッキー・ハロウィン!

ハロウィンジャンボミニ

1等前後賞合わせて5,000万円
1等3,000万円、前後賞各1,000万円

55 千万円

5 億円

1等前後賞合わせて5億円
1等3億円、前後賞各1億円

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

スマホやPCからのネット購入はこちらから!

宝くじ公式サイト <https://www.tokai-kyo.com/>

9月21日(水) 同時発売 各1枚300円

※抽選日 9月21日(水) 10時21分(※)
※発売日 9月20日(火) 10時20分(※)

宝くじ公式サイト

NEW 宝くじ

Quick One

クイックワン

いつでも買える。秒で結果でる。今すぐ会員登録! ▶

お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL 011-330-0777 (有料)